

| 日 | 校時 | 教科 | 教科書やワークなどの範囲 | 主な出題内容と留意点 |
|---------------------|----|----|---|---|
| 2 / 14 (月) | 1 | 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・「平家物語」 教P 150～157 ワークP 96～100 ・「漢詩の風景」 教P 162～168 ワークP 108～111 ・「君は「最後の晩餐」を知っているか」 教P 170～P 183 ワークP 116～121 ・「走れメロス」 教P 133～206L18 ワークP 133～142 ・「文法への扉2 走る。走らない。走ろうよー用言の活用」 <u>動詞「活用の種類」</u> <u>動詞、形容詞、形容動詞の「活用形」</u> ・【漢字書き取り問題】 ワークP115「漢字・語句の復習⑥」 ①56問・②12問から8題出題。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク、ノート、プリント同範囲 ・語句の意味 ・漢字の書き取り問題は <u>「ワークP115」から8題</u>出題します ※「走れメロス」の範囲は短くなるかもしれませんが。変更がある場合は、授業の中で連絡します。 ※2学期末テスト範囲だった「用言の活用」をもう一回出します。 ワーク・プリントを中心に勉強していただくこと。 <p>【ワーク・ノート点検】 朝提出 2組、3組2/8(火)・1組、4組2/9(水)</p> |
| | 2 | 英語 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 教科書 pp.67 - 95 (Let's Write 2, Grammar for Communication 4, Let's Listen 4, Unit 5, Let's Talk 3, Let's Listen 5, Unit 6, Let's Talk 4, Grammar for Communication 5) ◇ ワーク pp.69 - 101 ◇ 朝学習のテスト ◇ 単元テスト ◇ 授業のプリント類 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書をたくさん音読しましょう。 ・音読した上で、意味を考えながら英文を書いてみましょう。 ・ワークは繰り返し確認しましょう。 ・授業で行ったテストをよく見直ししましょう。 ・リスニングテストもあります。 <p>【ワーク点検】 1組、4組・・・2月 9日(水) 2組、3組・・・2月10日(木) 朝学活までに提出して下さい。 ていねいに取り組みましょう。</p> |
| | 3 | 理科 | <p>【地球の大気と天気の変化】 1章～4章 (P70～P135)</p> <p>【電流とその利用】 2章 電流の正体 (P248～P259) 1章 電流の性質 (P214～P220)</p> <p>※他、上記内容にかかわる教科書の他ページ、プリント、小テスト類</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・天気には圧力計算と湿度計算があります。 ・授業でも言っていますが、「最低限の暗記」は確かに必要です。しかし、理解のない暗記は得点力につながりません。『理解』が大事。 ・電流は2章の「静電気系全て」と、1章の「回路図」まで。 |
| 2 / 15 (火) | 1 | 社会 | <p>歴史【教科書 p102～163】 第4部 第3章 「武士による支配の完成」から 第5部 第3章 「新しい価値観の下で」まで</p> <p>【ワーク】上記教科書の範囲 p 8～p 33</p> <p>他、上記内容にかかわるプリント、資料集、地図帳、単元テスト類</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・用語はきちんと漢字で覚えましょう。 ・教科書の内容をよく読みましょう。 ・ワークの問題にもきちんと取り組んでおきましょう。 ・記述問題は、文末表現や全体的な文章表現が適切でない場合、減点します。 |
| | 2 | 数学 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 4章 図形の性質の調べ方 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P.110～P.143 ・ワーク P.66～P.79 ◇ 5章 三角形・四角形 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P.148～P.173 ・ワーク P.82～P.95 ・プリントNo.66・67「平行線と面積」 <p>・授業で使ったプリント(上記該当範囲) ・4章単元テスト ・小テスト</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・証明の手順を確認し、証明問題をたくさん練習しておきましょう。 ・角度を求める練習も必ずしましょう。 ・教科書、ワークを中心に復習をしておきましょう。また、単元テストや小テストの問題も、もう一度練習しておきましょう。 ・授業中に行った程度の作図も出題するので、再度練習しておきましょう。 (三角定規持参) |